

製品名: NOTCH2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82923**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	265.4kDa

抗原情報

遺伝子名	NOTCH2
別名	hN2; AGS2; HJCYS
遺伝子 ID	4853.0
SwissProt ID	Q04721
免疫原	大腸菌で発現したヒト NOTCH2 (AA:extra 1391-1677) の精製された組み換え断片。

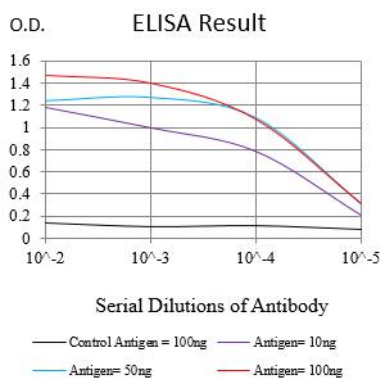
背景

この遺伝子は、Notch ファミリーのメンバーをコードしています。このタイプ 1 膜貫通タンパク質ファミリーのメンバーは、複数の上皮成長因子様 (EGF) リピートからなる細胞外ドメイン、および複数の異なるドメインタイプからなる細胞内ドメインなどの構造特

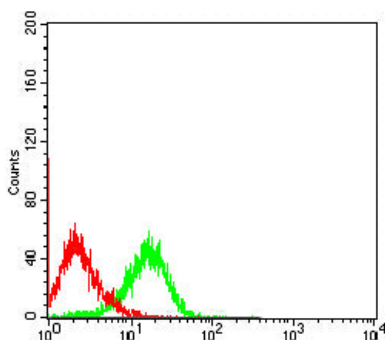
性を共有しています。Notch ファミリーのメンバーは、細胞運命決定を制御することで、さまざまな発生プロセスにおいて役割を果たしています。Notch シグナル伝達ネットワークは、物理的に隣接する細胞間の相互作用を制御する、進化的に保存された細胞間シグナル伝達経路です。ショウジョウバエでは、Notch とその細胞結合リガンド（デルタ、セレート）との相互作用により、発生において重要な役割を果たす細胞間シグナル伝達経路が確立されています。Notch リガンドのホモログはヒトでも同定されていますが、これらのリガンドとヒト Notch ホモログとの正確な相互作用はまだ解明されていません。このタンパク質はトランスゴルジ体ネットワークで切断され、ヘテロ二量体として細胞表面に提示されます。このタンパク質は膜結合型リガンドの受容体として機能し、血管、腎臓、肝臓の発達に関与している可能性がある。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つかっている。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



NOTCH2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Raji 細胞のフローサイトメトリー分析。